

*この事例集は、景観まちづくり教育ホームページの「景観まちづくり講座事例集」(全 52 事例)のうち、主として「様々な分野の活動に盛り込む」方法で実施している事例を収録したものです。

収録事例リスト

●余暇活動や健康作りの機会を通じて景観に関心をもってもらう

◆地域散策

- 14 景観ウォッチング [東京都練馬区]
- 15 ふるさと秦野景観見て歩き [神奈川県秦野市]

●趣味や特技をきっかけに景観に関心をもってもらう・趣味や特技を活かして景観まちづくりに取り組んでもらう

◆絵画・写真・デザイン

- 16 さっぽろ市民カレッジ「まちづくりのデザイン」[北海道札幌市]
- 17 まちづくり講座～街並みスケッチ編～ [三重県桑名市]

◆地域の歴史・地元学

- 18 歴史を生かしたまちづくりセミナー [神奈川県横浜市]

◆ガーデニング

- 19 ガーデニング講座 [北海道清里町]

●まちづくりやコミュニティ活動に関心がある人に景観まちづくりにも取り組んでもらう

◆ボランティア活動

- 20 金沢ボランティア大学校 [石川県金沢市]

◆まちづくり

- 21 旭区まちの活動体験講座「まちづくり倶楽部」[神奈川県横浜市旭区]



❖景観と聞いてイメージするものは、人によって千差万別。では、練馬の美しい景観とはどのようなものなのでしょうか。さまざまな専門家と一緒にまちを歩きながら、景観について考えてもらおうというのが、景観ウォッチングです。

❖まちあるきという気軽に参加できるレクリエーションを通して、景観をより身近なものとして捉え、自分たちのまちに愛着を持つことができるようになります。

詳細

○対象：市民

○目的：美しい景観とはどのようなものであるのかを、専門家と一緒に街を歩きながら考えてもらう。

○内容・特徴：商店街、住宅街、高層ビル、文化財、みどり、農地など、さまざまな景観要素を持つ地域を選定し、まちあるきをする景観啓発事業。

○実施概要

- ・日程：年1回、秋ごろ開催、半日程度
- ・講師：建築士、文化財保護推進委員等（その年のウォッチングのテーマごとに企画会議で決定し、依頼する）
- ・募集方法：ねりま区報、練馬区のホームページ等で募集
- ・参加費用：保険料

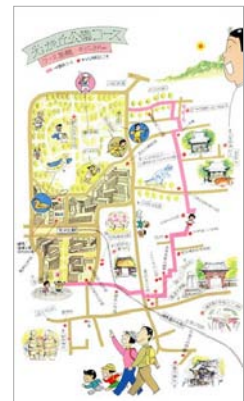


まちあるきの様子

ねりまの散歩道

- 区内の良好な景観を形成するみどりや水辺、公園、史跡や文化財などを快適、安全に巡り歩くことのできるネットワーク道路として、平成4年7月に設定。
- コース全長5～9km、コース別の案内パンフレット発行。
- コース紹介：全9コース

大泉中央公園コース	公園、緑地をネットワークしたコース。
清水山・憩いの森コース	公園から近くを流れる川を周回するコース。
光が丘公園コース	特色ある小さな公園を回るコース。
城北中央公園コース	史跡や寺院が点在する、歴史のかおり漂うコース。
大泉井頭公園コース	農家の屋敷森と、新しい街並みを回るコース。
武蔵関公園コース	上水や池など、水とふれあうコース。
石神井公園コース	武蔵野の雑木林、多くの文化遺産を回るコース。
中村・向山庭園コース	閑静な住宅街と、魅力的なポイントを回るコース。
豊玉・高稲荷公園コース	下町の雰囲気と、変わりつつあるまちを回るコース。





- ❖地区の住民自らが「ふるさとガイド名人」になって、地区ごとの様々な見どころ景観を案内します。
- ❖住民がルートを決め、住民が見どころ冊子をまとめ、住民がガイドになることで、景観を身近なものに感じてもらいます。
- ❖さらに、地域の子どもたち等との交流会も同時に開催することで、身の回りの景観を再発見し、好きになってもらえる取り組みを実施しています。

詳細

○対象：市民

○内容・特徴：地区毎に、「ふるさとガイド名人」の案内により、市内の景観を再発見・再確認する。

○実施概要

- ・募集方法：広報や地域情報紙の記事、ホームページ、公共施設でのチラシ配布等。
- ・参加費：無料。
- ・ルート：地区毎に組織された実行委員会により決定。
- ・教材：実行委員会により見所をまとめた冊子が作成され、当日に参加者に配布。

○各地区での実施概要

地区名	実施日	参加者数	内容・テーマ
上地区	平成 16 年 11 月 21 日 (土)	72 名	秦野の桃源郷を歩く
鶴巻地区	平成 17 年 7 月 23 日 (土)	66 名	明治時代からの耕地整理と温泉郷
本町地区	平成 17 年 9 月 18 日 (日)	32 名	秦野の水道史等
大根地区	平成 17 年 9 月 28 日 (水)	33 名	中世秦野の歴史遺産
北地区	平成 17 年 10 月 1 日 (土)	20 名	丹沢山麓、盆地の扇頂の美しい景観
東地区	平成 17 年 10 月 8 日 (土)	32 名	丹沢山麓の美しい景観、歴史・文化の故郷
南地区	平成 17 年 10 月 22 日 (土)	33 名	清水がわき出る湧水群の里
西地区	平成 17 年 10 月 29 日 (日)	43 名	美しい里山と雄大な丹沢の眺望



各地区での「見て歩き」の様子

実施内容例：上地区の実施内容

◇時間：午前 9 時～午後 1 時半

- ◇内容
- ・第一部 見て歩き：「ふるさとガイド名人」の案内による散策
 - ・第二部 交流会：参加者と、地元小学校の児童、「ふるさとガイド名人」の交流会
 - ・第三部 歌のプレゼント：合唱団による歌の披露

様々なデザイン分野から都市景観を考える

No.16

さっぽろ市民カレッジ「まちづくりのデザイン～札幌の風景・光景を考える～」 北海道札幌市



❖複数のデザイン分野から都市景観について考える市民カレッジ講座「まちづくりのデザイン～札幌の風景・光景を考える～」。

❖参加者は、建築設計、プロダクトデザイン、住居学、視覚伝達デザイン、色彩学、デザインマーケティング、都市計画などの専門家5人による、連続6回の講義を通じて景観を総合的に学びます。

❖各自の興味や関心を入りに、景観まちづくりについて考えるきっかけになります。

詳細

○対象：札幌市民または、札幌市内に勤務している方（受講定員 50 名）

○目的：21 世紀を見通した都市景観の在り方が問われている中で、複数のデザイン専門分野から立体的にアプローチして札幌の都市景観を総合的に考えることを通じて、景観に対する市民意識の高揚を図る。

○内容・特徴：教育委員会所管の生涯学習総合センターが主催する市民カレッジで開講された講座。複数のデザイン分野の専門家が講師を務め、連続 6 回の講義を通じて、デザインの視点から札幌の姿を捉える。

○実施概要（※現在は実施されていない）

- ・ 日時：平成 13 年 10 月に全 6 回開催、各日とも 19 時から 20 時半
- ・ 費用：受講料 1,000 円
- ・ 募集方法：生涯学習総合センターの HP や講座案内のチラシ配布により募集
- ・ 実施体制：札幌市立高等専門学校の教授及び助教授（計 5 名）が講師を担当した。各講師の専門は、建築設計・プロダクトデザイン、建築計画・住居学、視覚伝達デザイン、色彩学・デザインマーケティング・デザインマネジメント、都市計画。
- ・ 教材等：各回の講師が作成したスライド等を使用

○カリキュラム概要

回	日程	テーマ
1	10月11日（木）	序論：景観の意味
2	10月16日（火）	都市空間構造がおよぼす景観の特質
3	10月18日（木）	街角建築と街路空間の構成
4	10月23日（火）	街と広告
5	10月25日（木）	色彩の相対性と効果
6	10月30日（火）	都市の個性-札幌とニューヨーク

（*時間は各回とも 19 時から 20 時半）



『札幌の風景・光景・景観を考える』
（講座終了後に発行された冊子で、
各回の講義概要が収録されている）

スケッチから始めるまちづくり！

No.17

まちづくり講座 ～街並みスケッチ編～ 三重県桑名市



- ❖まちの魅力的な風景や、残したい素敵な風景を題材に、街並みスケッチの描き方を学ぶ「まちづくり講座 街並みスケッチ編」。
- ❖参加者は、まちの風景の見方や街並みスケッチの描き方を学んだ後、実際に屋外に出てスケッチを行います。彩色を行い完成した作品を発表し合い、講師の講評も受けます。
- ❖街をじっくり見つめることで、身近な街並みの良さを発見する目が養われ、街を魅力的にするアイデアを持った市民が生まれます。

詳細

- 対象：高校生以上（まちづくりに関心のある方、定員 20 名）
- 目的：自分たちの住むまちについてもっとよく知りたい、この風景を残したいと考えている人に対して、街並みのスケッチを描く機会を提供することにより、風景やまちについてより深く考え、まちづくりに取り組むきっかけとする。

○内容・特徴：街並みの風景を簡単なスケッチで描く手法を学ぶ 2 日間の講座。1 日目は、風景の見方やスケッチの描き方を学んだ後、屋外でスケッチを行う。2 日目は、ペン入れや彩色によりスケッチを完成させる。その後、各参加者が自分の作品を発表する。

○実施概要

- ・日時：平成 17 年 10 月 2 日(日)・8 日(土)の 2 日間、両日とも午前 9 時から 12 時
- ・場所：公民館会議室
- ・参加費用：無料
- ・募集方法：市広報誌及び HP で参加者を募集
- ・実施体制：環境デザイナー及びスケッチの専門家（パースレンダラー）が講師を務める
- ・教材等：講師が作成したパワーポイントを使用

○スケジュール

1 回 目	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの風景の見方：書籍『まちづくり極意くわな流』を使いまちの風景の見方を解説 ・スケッチの描き方：講師が描いたスケッチを用い制作過程と描き方を解説 ・野外スケッチ：屋外で実際にスケッチを行う
2 回 目	<ul style="list-style-type: none"> ・野外スケッチの仕上げ：第 1 回で描いたスケッチに、ペン入れや彩色を行い完成させる ・発表会：各参加者が自分の描いたスケッチを発表し、講師が講評を行う



↑講座で使用したパワーポイントの一部



↑風景の見方、スケッチの描き方の解説



↑野外スケッチ



↑スケッチの仕上げ



↑発表会

*『まちづくり極意 くわな流』とは、市職員やまちづくりの専門家、市民によって制作された、桑名のまちやまちづくりを紹介する書籍。当講座は、この本の制作に関わったメンバーの発意によって実施された。



❖ただ聞くだけ、ただ見るだけではなく、専門家から話を聞くことと歩いてみることをセットにして、自分たちのまちの中に眠っている歴史的資産に目を向け、その価値を再評価することを目指しています。

❖歴史ある港町らしい建築や民家を題材に、講演と見学会が行われます。

❖そして、それらがまちづくりの資源であることに気づき、保全と活用に積極的に取り組んでいくことにつながるのです。

詳細

○対象：市民

○目的・内容：市内に残る歴史的資産の価値を広く知ってもらい「歴史を生かしたまちづくり」事業の趣旨を、市民、所有者、企業に普及していく。

○実施概要

- ・主催：横浜市、横浜市歴史的資産調査会
- ・募集方法：往復はがき、E-mail（応募者が多い場合は抽選）
- ・費用：参加費用、教材費。
- ・形式：講師による講演（45分程度）＋ガイドツアー（2時間程度）。
- ・期間：平成元年3月から平成19年3月まで、不定期に30回開催。
- ・内容：近代建築や民家など、市内の歴史的資産を取り上げる。

No	年月	タイトル	講演テーマ/セミナー内容	現地見学
1	H1.3	港周辺の近代建築	近代建築の楽しみ方 函館の歴史的建造物とまちなみ	関内地区の近代建築
6	H3.3	茅葺き民家とその暮らし	旧横溝住宅の保存と横浜の古民家 民家にみる日本の暮らし	横溝屋敷
16	H8.6	来て・見て・感じて！ -西洋館の移築復元-	建物の特徴と保全改修工事について	保全改修工事現場
19	H11.12	緑の中の歴史的建造物を訪ねよう～バスで巡る近代建築・古民家見学ツアー～	長浜ホール・横浜検疫所1号停留所	長浜ホール
			舞岡公園古民家（旧金子家住宅） お話：舞岡公園を育む会	1号停留所 旧金子家
24	H14.3	港ヨコハマの知られざる魅力～土木遺産編～	写真家が見た土木遺産を港の魅力	横浜情報文化センター～開港の道～新港橋梁～赤レンガ倉庫
			横浜の開港を支えた土木遺産	
30	H19.3	横浜三塔物語	横浜三塔物語	神奈川県庁本庁舎・横浜税関・開港記念会館



平成19年開催 「横浜三塔物語」実施の様子



❖市民が気軽に取り組めるガーデニングについて、専門家から知識や技術の講習会を実施しています。

❖講座を受講した市民が、それぞれの家でガーデニングを広げていくことによって、それが繋がって街並みが心地よくなったり、オープンガーデンが開催されるようになったりと、「活気にあふれ」「緑にあふれ」「花かおる」まちづくりが展開されることが期待されます。

詳細

○対象：市民

○目的：講座を受講した市民がガーデニングを行うことで、「活気にあふれ」「緑にあふれ」「花かおる」まちづくりを推進する。

○内容・特徴：「きよさと花・みどりフェスタ2007」での事業の一環として開催。景観に配慮したガーデニングについて、基礎知識について実習を含めた講義を実施し、基礎的なテクニックから実践までの講習を行う。プランターやハンギング（バスケット）の作成、適した花の選定など

○実施概要

- ・回数：年数回開催。
- ・講師：造園等の専門家
- ・募集方法：清里町広報による周知。
- ・費用：実費（材料費）



講習会



花めぐりツアー



児童による花栽

自治会の女性部のメンバーと小学生により、通学路の道路植樹帯に花栽を行っている。

●きよさと花・みどりフェスタ2007概要

商店街や店先でのガーデニングを楽しんでもらうとともに、コンサート等多くのイベントが開催される。

期間：6月1日～9月30日

企画：

花とみどりの潤いのまちづくり

自治会花壇、フラワードの設置／オープンガーデン、ガーデンマップの作成／ガーデンコンテスト

緑の植栽事業

技術の向上と花とみどりのまちづくりリーダー養成

フラワーマスター活動支援とフラワーガイド育成／ガーデニング講習会／ガーデンアドバイス事業の実施



❖様々な分野に及ぶボランティア活動の基礎を学ぶボランティア大学校。その中に、景観まちづくりの視点から学ぶ講義を取り入れています。

❖ボランティアとしてやる気のある市民に、景観や景観まちづくりに関連した知識や視野を身に付けてもらい、実際に様々な活動をしていく中でその知識を活かし、景観への意識を持って実践してもらえることが期待されます。

詳細

○対象：市内または近郊に在住の、満18歳以上の市民。

○目的：多様化するボランティアに必要な基礎知識の一つとして、また、金沢市が実施している景観施策についての理解をより深めてもらう。

○内容・特徴：(社)金沢ボランティア大学校が開催するボランティア育成講座のなかで、景観について学ぶ。

○実施概要：

- ・定員：各コース35名
- ・費用：受講料無料（ただし、資料代実費相当等は自己負担）。
- ・開講時期：6月～3月
- ・時間：午前コース 10：00～11：30 午後コース 13：30～15：00
夜間コース 19：00～20：30
- ・コース種類：各コースとも、全部で25回の講義が開講される。

コース名	内容	景観まちづくり関連講義
文化	金沢21世紀美術館など	「金沢の文化遺産」
緑花	緑と花のあふれるまちに	「花壇のデザイン」「庭園都市デザイン」
環境	生活の中の環境	「市街地の森と緑」「里山の環境保全」「まちづくりと市民活動」「金沢の都市景観」
観光	観光ガイド まいどさん	「にし茶屋街と寺町寺院郡」「ドームと武家屋敷」「城と神社と美術館」「ひがし茶屋街と美術館」「金沢の歴史的建築とまちなみ」

- ・視覚的に景観を理解できるように、スライドなどにより多くの写真を用いて事例紹介をしている。
- ・受講後の活動状況例：文化コース→金沢21世紀美術館でのボランティア
環境コース→里山保全、ビオトープの管理
観光コース→観光ボランティアガイド



全体学習の様子



「観光コース」の町散策の様子



試しに体験 まちづくり活動

No.21

旭区まちの活動体験講座「まちづくり倶楽部」

神奈川県横浜市旭区



❖市民活動やまちづくりが「気になる」「興味はある」けれど、本格的に参加するには少しためらいがある人に、その現場を体験してもらうことで活動への参加を促していきます。

❖実際にどんな人がどんなふうに活動しているのか、直に接することができます。

❖まちづくり活動が、市民にとって、もっと身近で気軽に始められるものとなるきっかけづくりを行っています。

詳細

○対象：区内在住、在勤者

○目的・内容：市民が主体となり進めている「まちづくり活動」の現場を体験する講座。

○平成 15 年度実施概要

- ・定員：区内在住・在勤者 50 名。
- ・期間：11 月～3 月。
- ・条件：入門の会、まとめの会への参加、期間内に 3～5 日程度の活動体験。
- ・体験先：緑の保全、地域福祉、リサイクル、市民施設の運営など、市民が主体的に行っている団体。
- ・プログラム

◇入門の会-様々な活動団体の現場の話を聴き、協働のまちづくりを考える。

① 11 月 5 日 13:30～16:00

市民活動と協働のまちづくり入門／緑や自然に関する活動の紹介

② 11 月 17 日 13:30～16:30

地域や福祉、子育て活動の紹介

③ 12 月 6 日 13:30～16:30

まちのルールづくりの活動紹介／バスで事例の視察

◇活動体験-実際の活動を体験してみる。

○12 月～2 月の間に、3～5 回程度、活動に参加する。

●景観まちづくりに関する活動例

- ・下草刈りなど樹林の手入れ、散策路の管理・維持の作業、清掃活動
- ・農家の裏山の緑を保全する活動、荒れた樹林の手入れ、清掃

◇まとめの会-様々な活動に参加した体験の報告会を行う。

○ 3 月 8 日 13:30～16:00 体験発表、交流会

*体験報告を小冊子にまとめ、区民に配布